

【八戸市教育委員会】

ネットワーク整備計画

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
十分なネットワーク速度が確保できている学校数とそう学校数に占める割合	未把握	65 校 (100%)	65 校 (100%)	65 校 (100%)	65 校 (100%)
簡易帯域測定の実施	全校実施		定期 (3 年)	定期 (3 年)	定期 (3 年)
ユーザ体感調査の実施	全校実施		定期 (3 年)	定期 (3 年)	定期 (3 年)
アセスメントの実施		対象校に 対して実施	随時	随時	随時

(現状)

現在、校内ネットワークは、校務系の HENS 回線（有線及び無線 LAN）と学習系の GIGA 回線（無線 LAN）の 2 系統が整備されており、1 人 1 台端末は学習系として整備した GIGA 回線接続のもと活用されている。

▶HENS 回線について

センター集約型となっており、令和 6 年度に各校とセンター間の回線サービスの見直しにより、従来の専用回線から VPN 回線への移行を実施。

各校から中継地点間は 1 Gbps のベストエフォート回線各 1 本接続とし、センターから中継地点間は 1 Gbps のベストエフォート回線全 7 本(接続拠点を 7 グループに集約)とした。

令和 7 年度以降、センターからインターネットへの接続回線の見直しにより回線サービスの切替えを実施する。

▶GIGA 回線について

令和 2 年度に、各学校からのローカルブレイクアウトによる 1 Gbps のベストエフォート回線を整備し以降運用している。また、ネットワーク機器として中規模校以上には、無線安定化装置として T-Bridge を導入しており、パケットロスによる再取得の回線負荷を軽減するようになっている。

現状、1 人 1 台端末の日常的な利用において回線遅延の報告は無いが、文部科学省のガイドライン上に記載された学校規模に応じた帯域確保が必要であるため、令和 6 ～ 7 年度にかけてネットワークアセスメントを実施する。

(課題把握までのスケジュール)

令和 7 年 1 月末までに簡易帯域測定及びユーザ体感調査を実施し、各学校の児童・生徒数による推奨帯域に満たない学校又はユーザ体感調査により課題があると判断される学校を把握する。

上記により、課題があると判断された学校について、令和 7 年度 9 月までにネットワークアセスメントを実施し、課題の原因を特定する。

(課題解決の方法・スケジュール)

ネットワークアセスメントの結果をふまえ、令和 7 年 10 月から順次改善策を検討し、令和 8 年 3 月までに対象校の課題を解決する。令和 7 年度中に全ての小・中学校について、十分なネットワーク速度が確保できている状態とする。

(備考)

令和 7 年度に全ての小・中学校について、十分なネットワーク速度を確保して以降は、全小・中学校を 3 つのグループに分け、毎年 3 年度ごとに簡易帯域測定及びユーザ体感調査を実施し、課題把握に努める。

その他、課題等が発生した学校があれば、随時ネットワークアセスメントを実施し、課題解決に努める。

